

平成29年3月 京田辺市議会 文教福祉常任委員会 所管事務調査
学校の環境整備について 報告

文教福祉常任委員会では、平成28年3月議会より「学校の環境整備について」をテーマとした所管事務調査を実施してまいりました。

文教福祉常任委員会として、平成28年4月に、市内7小学校（松井ヶ丘小、大住小、桃園小、薪小、田辺東小、田辺小、草内小）を訪問し、また平成28年11月に市内1小学校と3中学校（普賢寺小、大住中、培良中、田辺中）を訪問し、それぞれの学校施設の状況や整備の課題などを把握する現地調査を行ないました。なお三山木小学校については平成28年3月に新校舎完成の際に、施設見学を実施しております。

平成28年3月議会から同年12月議会にかけて、執行部に学校環境の改善や課題などについて質疑を行いました。その中ではトイレの改善（ハイタンクの解消、個室トイレのアコーディオンカーテンの改善など）、施設の老朽化対策、エレベーター設置、個別の学校施設整備の課題などがとり上げられました。

また各学校の施設修繕費の活用状況などもとり上げ、執行部から修繕内容についての報告資料の提出を受けております。

各学校訪問を踏まえた執行部への質疑では、防火シャッター仕様やサスマタ等防犯具の置き場所が学校ごとに異なっていること、また校舎からの転落防止策の徹底などのために、学校の安全対策を統一的に運用するための「学校安全対策マニュアル」の整備を進めるべきとの指摘がなされ、執行部から「日常的な点検などの指針となる、チェックリストやマニュアルなどの整備を検討したい。」と答弁がありました。

今後、執行部には学校現場の要望に機敏に対応した修繕や、老朽化した施設の改善の対策、学校安全対策マニュアルの整備などに取り組まれることを求めることで、市議会文教福祉常任委員会で合意しましたので、この点については市議会議長より執行部へお伝えしていただけるようお願いいたします。報告といたします。